

あなたと議会を結び



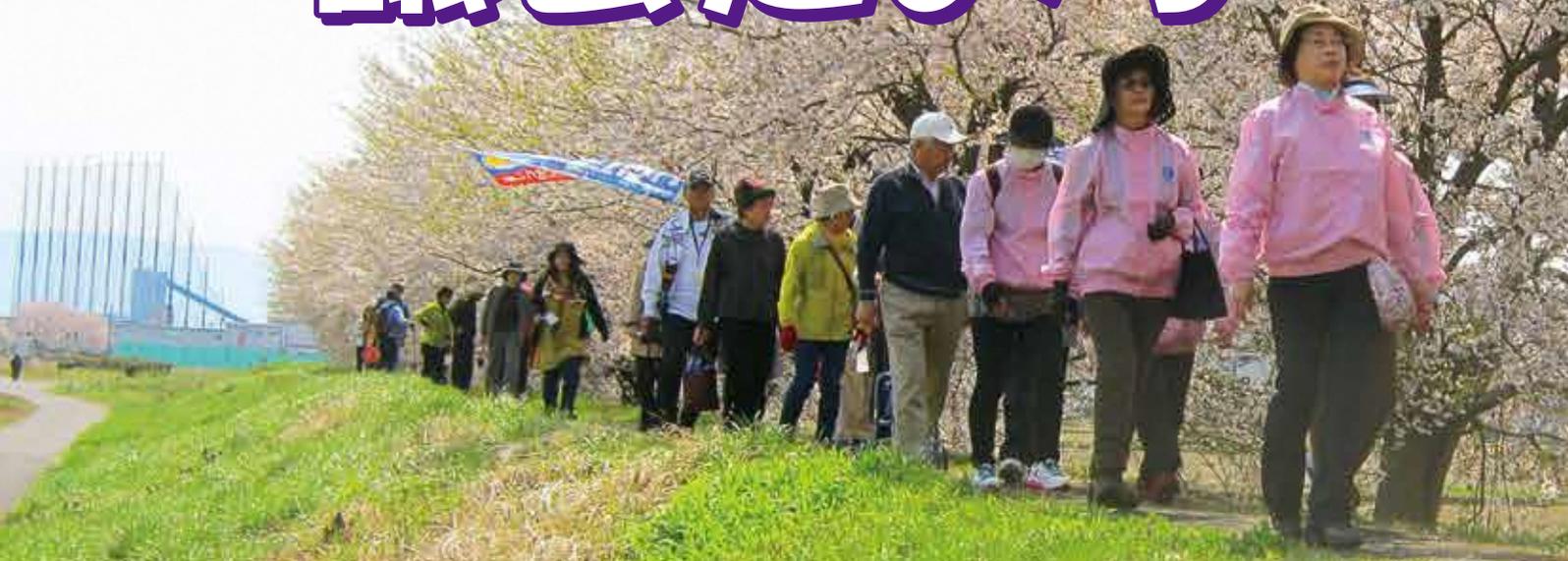
No.193

平成31年4月25日

発行

あいづばんげ

# 議会だより



## 「さくらオーナーの会」の紹介

さくら  
オーナー

2002年に「たくさんの桜が咲き誇るまち」を町民の手でつくろう！そんな思いから始まりました。町が植栽枠を設置し、住民が植樹した桜のオーナーとして管理をする「協働のまちづくり」のひとつです。2002年より植栽を開始し、今では100本以上の桜の木が、ばんげひがし公園から八千代橋まで続いております。約90名のオーナーさんが管理するその木は、春になると見事に咲き誇り、その桜並木は圧巻です。町の木である「桜」を育て、愛でること。そして、その桜並木が新たな観光名所となって、多くの方の笑顔を生み出していくことを願っています。また例年4月には桜ウォークを開催しております。

問合せ先

さくらオーナーの会 事務局  
Tel 84-2135 (会津坂下町まちづくりセンター)

## ばんげの宝【さくらオーナーの会】

### 第1回定例会(3月議会)目次

- ◆当初予算 ..... 2～3 P
- ◆予算特別委員会 ..... 4～5 P
- ◆第1回定例会の主な審議案件 ..... 6 P
- ◆平成30年度補正予算 ..... 7 P
- ◆人事案件、賛否の公表 ..... 8 P
- ◆ばんげ未来トーク ..... 9 P
- ◆議会を代表しての質問 ..... 10 P
- ◆一般質問 ..... 11～15 P
- ◆みなさんの声・編集後記 ..... 16 P

# 会津坂下町の明るい未来の実現を目指した予算 財政健全化最重点期間スタート

## 平成31年度各会計の当初予算の額（前年度比較）

（単位：千円）

会計区分	H31	H30	対前年比
一般会計	6,889,000	7,187,000	▲4.17%
国民健康保険特別会計	1,869,534	1,955,658	▲4.40%
介護保険特別会計	2,217,124	2,188,656	1.30%
後期高齢者医療特別会計	180,293	178,619	0.94%
下水道事業特別会計	418,700	409,600	2.22%
坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計	179,225	190,245	▲5.79%
農業集落排水事業特別会計	68,900	68,400	0.73%
水道事業会計（収益的収入による比較）	494,774	500,051	▲1.06%

## 反対

## 反対討論

### 五十嵐一夫議員

庁舎建設のための基金造成に303万円の積み立てしか計上していない、庁舎建設は必ずやってくる、逼迫した財政を理由に、毎年8千万円の積み立て約束が守られていません。

あいづふるさと基金、1億7千万円はどこにいったのか。

各種事業の削減はするが、町長退職金についての取り組みを含め、三役・議会、職員の報酬・給与削減への取り組みの姿勢が見られない、痛みを分かち合う姿勢が無いことに失望するものであり、本予算案に反対する。

### 横山智代議員

人口減少が続く中、地域経済の土台となる農林水産費・商工費の減額ではなく、基幹産業の農業を生かし、町独自の農産物の生産・加工などの産業振興、元気なまちづくりのため、地域経済活性化を図る予算が必要であり、重視すべきであると思い、本予算に反対いたします。

### 小畑博司議員

中山間地等直接支払制度や多目的支払交付金事業の中山間地の事業凍結をはじめ、4月からの給食食材スクリーニング検査の中止は、「安全・安心のまちづくり」、「持続可能な地域づくり」に逆行するものです。町民が納得できる、希望の持てる予算を再考せよ。

### 赤城大地議員

本予算に対しては一定の理解と評価をするが、教育費の削減、特に学校教育に係る予算が削減されていることは残念でならない。机や椅子の購入など、子どもたちにかかる予算を財政が厳しいの一言で削減してもよいのか。町の優先順位の考え方に疑問が残る。

### 渡部正司議員

補助金等を過去の実績に照らし合わせて縮減している現状は、適切な行政指導を疎かにしていたことの証左である。これらは、行政の怠慢にとどまらず、行政を放棄したものであり、その責任を町民に転嫁させたものと言わざるを得ない。併せて公債費負担適正化計画の進行管理を町民へ示すことも必要だ。本案に反対する。

平成31年度重点事業（一般会計）（事業費（単位：千円））

子どもを安心して生み育てられる環境の整備		安全・安心なまちづくり	
子育てふれあい交流センター事業	11,549	食品等放射性物質測定事業	7,048
放課後児童健全育成事業	15,361	自主防災組織の育成	49,631
養育支援訪問事業	407	特色を生かした農林業の振興	
私立保育所等施設型給付事業	106,091	人の駅・川の駅・道の駅事業	10,000
妊婦・乳幼児健康診査事業	14,594	農産物等販路拡大事業	4,655
安心で信頼ある教育の場の提供		農地集積協力金交付金	20,000
学力向上推進事業（指導主事）	8,646	多面的機能支払交付金事業	135,393
教育相談機能の充実	2,140	ふくしま森林再生事業	44,700
小学校通学事業	13,125	個性を生かした商工業の振興	
特別支援員配置事業	7,192	企業経営・雇用支援事業	2,588
中学校通学事業	16,569	街中賑わい創出事業	103
幼稚園通園事業	29,436	企業誘致推進事業	495
元気で健康なからだづくり		中心市街地再構築事業	240
健康管理センター活用事業	2,578	快適な生活環境の形成	
介護・生活支援の担い手育成事業	500	空き家対策事業	258
医療機関・救急医療充実事業	60,237	移住・定住促進事業	629
健康診査事業	20,243	公共下水道事業	122,644
健康増進事業	1,296	地域づくりの推進	
予防接種事業	47,012	地域づくり推進事業	47,068
安心できる福祉の充実		住民と一緒に進めるまちづくり	
介護予防事業・包括的支援事業	12,893	協働によるまちづくり推進事業	100
		振興計画策定事業	2,141

上記以外の主な建設事業（単位：千円）

事業名	事業費	事業内容
合併処理浄化槽設置整備事業	10,895	合併処理浄化槽設置補助
防雪サブセンター新築事業	22,020	除雪機械（小型除雪ローダ）の更新
社会資本整備総合交付金道路整備事業	68,500	道路橋りょう定期点検、橋りょう修繕設計・工事
町営住宅改修事業	77,950	町営古町川尻団地給水ガス管改修工事等

賛成

賛成討論

渡部順子議員

昨年今後の財政状況を鑑み、新庁舎建設を延期する決断をされ、財政の健全化を最優先に取り組む事を表明された。健全でなければ質の高い行政サービスは、提供できません。将来を、しっかりと見据え、町の持続可能な行政運営をされる事を強く要望いたしまして本案への賛成討論とします。

酒井育子議員

新庁舎の建設を断腸の思いで延期する決断で、平成36年まで財政健全化に集中して取り組む事が示された。予算は歳入に見合った編成が前提で、創生総合戦略に位置づけた重点事業を柱とし、緊急性・必要性・優先度の観点から見直し取捨選択で、住民福祉の向上と安全・安心な生活の確保を担保し、確実な財政の健全化を進め、明るい未来が描けるよう一層の努力と創意工夫を強く要望し本案への賛成討論とします。

猪俣恒雄議員

平成26年には107億円あった、普通会計の町債が予算書によれば、来年度末には81億円台まで減り、次年度は70億円台が見えてきている。このまま行けば5年後の町債は40億円台を割ってくると予想でき、平成19年には21.3%あった公債費率は1桁台になってくる。

厳しい予算編成が2、3年は続くが、先は見えて来ている。10～20年後に「平成の最後から新しい年号に変わった頃は苦しい予算の中でよく頑張った」と高い評価をうける年度になる事を確信して賛成する。

青木美貴子議員

当町の置かれている厳しい財政事情下にあっては住民の全てが満足する予算を編成することは不可能であると思います。行政サービス等可能な限りの予算編成をなされ、行政側としても苦しい決断を迫られた事を推測します。ここ近年で財政難になった訳ではなく過去の甘い見通しが生んだ結果かと思われます。健全な財政基盤を築かなければ事業・行政サービス等何も出来ません。明るい坂下町になることを信じて、私の賛成討論とします。

# 歳出予算（特別会計含む） 1755万円を徹底チェック

来年度の各会計歳入歳出予算について審議するため、予算特別委員会を設置しました。  
委員長に三橋薫議員、副委員長に横山智代議員を互選し、3月15日・18日の両日開催され町長提出の8会計を、慎重に審議した結果、すべての会計の予算を可決いたしました。

## 予算特別委員会の主な質疑・答弁

### ふるさと納税について

Q：町のふるさと納税を今後、強化する仕組みや積極的な対策は。

A：平成28年の5千万から、返礼率を下げたため、現在、寄付額は約3千万程度となった。今後は、ニーズにあったソフト事業を新たに加え、さらに返礼品の種類を増やし、魅力アップを図っていく。

### ふるさと応援団学生版について

Q：農林振興費の旅費が減っている理由は。また、それによって悪影響はないのか。

A：平成31年度より、首都圏等在住の会津坂下町出身の大学生、短大生、専門学校生を対象に「ふるさと応援団学生版」として登録すると、町が首都圏等で参加する物産フェアや交流フェア等でスタッフとして活躍する取組みを実施するため、旅費が削減となり、この活動を通して、会津坂下町への愛着心を醸成し、新たな販路拡大を図っていく。

### 地域おこし協力隊について

Q：今年度、地域おこし協力隊の事業が縮小されている。他自治体では活用事例も報告されているが、今後、町はこの事業を行わないのか。

Q：平成28年度から合計5名の方に活躍頂いた。今後、地域おこし協力隊員が3年間経過した後、町に定着し、活躍できる場を創出するという課題を踏まえて、一度立ち留まって検証した上で、再度取り組んでいきたい。

### 街路灯について

Q：街路灯の新設計画は。また電気料の根拠は。

A：今年度は、5か所の新設、LED化11カ所を計画している。現在、町は2,558灯を管理し、LEDは476灯（18.61%）の状況である。LED化を順次進め、省エネに努めていく。

### 行政センター建設基金について

Q：新庁舎建設は延期であるので、行政センター建設基金積立は必要である。毎年8千万円の積立てを約束してきたのに、今回、303万円になった理由は。

A：必要性は理解しているが、財政状況を鑑み、継続できない。この財源を財政健全化に向けていく。303万円の根拠は、3役分の給与減額分と寄付額分である。

### 特定不妊治療費助成金について

Q：特定不妊治療費助成金の予算が縮小減されている理由は。また、代替案はあるのか。

A：厳しい財政状況を踏まえて、全体のバランスを総合的に判断した結果である。県の補助金は継続されるため、町は夫婦に寄り添い、デリケートな相談ができる支援体制の充実に取り組んでいきたい。

# 平成31年度 8 会計の歳入 総額123億

## 水道事業会計予算に対する討論

### 賛成 賛成討論（五十嵐一夫議員）

営業収益、新規加入金として計上していた152万円が補正で全額減額となったのは、農振地区除外・農地転用の指導・実行がなされなかったからであります。

水道事業とは直接関係はないが、農政の真摯な対応の不足を指摘します。

他の事業会計が互いに影響するの  
で連携を持った取り組みを望みます。



三橋委員長と横山副委員長

### 反対 反対討論（渡部正司議員）

本会計はミスを繰り返している。明らかに町としての予算作成のシステムに問題がある。水道行政を健全に議論するためにも有識者による診断を受け、会計構造を正しく理解し、運用ができることを確認、証明したほうが町のためになる。チェックを含めた予算作成のシステムを構築することを提案する。疑義が残り、本案に反対する。

### 反対 反対討論（佐藤宗太議員）

平成29年度の不適切な会計により生じた特別損失が平成30年度に計上されておりますが、それ自体が不適切な会計処理であり、反対せざるをえません。

今後、外部会計の専門家などのお力を借りながら、適切な会計に努められることを切に願います。

## 議会が予算書を見る主なポイント

- ①前年対比の増減が大きい事業の精査
- ②住民のニーズにあった事業の予算配分
- ③一般会計から特別会計への繰入金の割合
- ④財政調整基金への積立状況
- ⑤国・県各種補助金の内容や補助率（町の負担割合）
- ⑥各種団体等への補助金交付内容や状況
- ⑦第五次振興計画の実現に沿った予算配分
- ⑧町債の発行にあたり、歳入にあった歳出計画の予測
- ⑨廃止（予算減）となった事業の検証

## 坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計予算に対する討論

### 反対 反対討論（五十嵐一夫議員）

保留地の不動産売却ができなかったことによる財源を一般会計から安易に繰り入れすべきでない。起債を発行して、本特別会計内で処置すべきである。

翌年度に保留地を売却しても一般会計に繰入金を戻す考えもないので、このような補正予算に反対する。

# 糸桜里の湯ばんげの使用料値上げ

## 第1回 (3月) 定例会

3月7日から20日までの14日間で開催されました。町長から追加議案も含め議案32件（専決処分報告及び承認1件、人事案件2件、条例制定・改廃13件、平成31年度当初予算8件、平成30年度補正予算8件）が提案され、すべて原案のとおり可決しました。

また、11日と12日に議会を代表しての質問、一般質問が行われ9名の議員が登壇し町政について質問しました。さらに14日には各常任委員会を開き提出された議案等を審議しました。

**糸桜里の湯ばんげの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例**

**提案理由** 「糸桜里の湯ばんげ」の運営にあたり、施設に係る指定管理料のより一層の低減化を図るため、施設使用料並びに営業時間の見直しを行い、経営改善に取り組むという観点から、利用料金及び営業時間について見直しをする。

**反対**

**反対討論（五十嵐一夫議員）**

料金値上げによる試算、利用者15%減少見込みには、回数券売上・休憩室を考慮していない、時間の短縮による利用者減少も考慮されていない、料金値上げと営業時間を短縮するならば、サービス向上が求められるが、何ら考えていない。

料金改定の試算とサービスをもう一度検討して提案すべきものであり、本案に反対する。

区分		現行額	改定案	改定額 (値上げ額)
1回券	大人	510円	600円	90円
	老人	300円	400円	100円
	小学校児童	300円	400円	100円
回数券 (6回券)	大人	2,550円	廃止	/
	老人	1,500円		
	小学校児童	1,500円		
回数券 (12回券) ⇒ (11回券)	大人	5,100円	6,000円	900円
	老人	3,000円	4,000円	1,000円
	小学校児童	3,000円	4,000円	1,000円

		現行	変更後	変更時間
営業時間	開館時間	午前9時	午前9時	—
	閉館時間	午後9時	午後8時	1時間短縮

**町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例**

**提案理由** 特別職報酬等審議会の答申を受け、平成32年3月末までの1年間、町長30%、副町長・教育長15%給与を減額する。

**反対**

**反対討論（渡部正司議員）**

本議案の減給によって、一部の責任逃れや行政への風当たりが弱まるといった甘えが職員にも生じ、現状認識がずれてしまうのではと危惧する。この減給が、財政悪化の免罪符の意味を持つてはならない。安易に減給という応え方に走らず、厳しい町民の声を真つ向から受け止め、職責を担うべきだ。本議案に反対する。

**会津坂下町上下水道事業運営審議会設置  
条例**

**提案理由**

現行の各事業に設置されている審議会の整合性を図り、料金等改定や運営全般について、一括して審議する審議会を新たに設置する。

**平成30年度補正予算**

追加議案として、一般会計及び特別会計の平成30年度補正予算について、審議し、可決しました。

**反対**

**反対討論（五十嵐一夫議員）**

体育館跡地の幼稚園児通園事業、通園バス送迎乗降所は、他にも候補地があること、南小学校校庭の拡張の千歳一遇の機会である。町財政が逼迫しているので、工事を再考すべきである。

当初予算で計上した、町役場建設のための基金の積み立てをせず、あいづふるさと基金返還金1億7千万円を他の事業等に使ってしまうことは許されない。

財政難への取り組み、予算執行の変更には反対するものである。

**平成30年度一般会計補正予算（第5号）の主な内容**

補正前	補正額	補正後
75億 6,572万7千円	△1億 2,380万9千円	75億 4,191万8千円

＜歳出事業の主な変更内容（千円未満切り捨て）＞

①市町村生活バス路線運行	901万円増
②坂下東第一土地区画整理事業特別会計への繰入金	1,169万円増
③予備費	7,451万円増
④行政センター建設基金の積立額を変更	6,700万円減
⑤新庁舎建設延期による関連事業費の減	3,210万円減
⑥各特別会計への繰出金	1,883万円減
⑦児童措置費（児童手当の受給対象者数の減）	1,000万円減
⑧プロフェッショナル経営体創出事業	2,000万円減

**平成30年度繰越事業一覧表**

No.	款	項	事業名	金額 (千円)
1	3 民生費	1 社会福祉費	プレミアム付商品券事業	1,572
2			老人福祉費（保険年金班）	6,156
3	8 土木費	2 道路橋りょう費	社会資本整備総合交付金事業（橋梁整備）	21,858
4	10 教育費	2 小学校費	教育施設整備事業（エアコン）	91,064
5		3 中学校費	教育施設整備事業（エアコン）	82,950
6		4 幼稚園費	幼稚園通園事業（通園バス乗降所）	25,486

**反対**

**反対討論  
（渡部正司議員）**

本議案には、審議会の委員に町議会議員が含まれている。このことは、立法機関と執行機関との対立型をとる民主的な地方制度の趣旨に反し、執行機関による議員の「とりこみ」を意味するもので適切でないと考えられている。町議会議員は、二元代表制の観点から、委員に就任しないことが望ましいと考える。本議案に反対する。

**反対**

**反対討論  
（佐藤宗太議員）**

議会には、議決権があり、行政を評価しチェックする監視機能があります。議員が審議員になることは、その議会機能の弊害になる可能性が払拭できず、懸念が残ります。したがって、議員は審議員になるべきではないという立場から反対いたします。

# 人事案件

## 教育長の任命（議案第2号）

鈴木茂雄氏（再任）

【桜木町 61歳】の選任に同意しました。

任期は平成31年4月より3年間で

賛成全員で同意



## 固定資産評価審査委員会委員の選任（議案第3号）

渡部久一氏（新任）

【新栄町 68歳】の選任に同意しました。

任期は平成31年4月より3年間で

賛成全員で同意



件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	物江 政博	赤城 大地	横山 智代	渡部 正司	小畑 博司	佐藤 宗太	山口 享	三橋 薫	青木美貴子	五十嵐正康	渡部 順子	五十嵐一夫	水野 孝一	酒井 育子	猪俣 恒雄	古川 庄平
町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長
会津坂下町上下水道事業運営審議会設置条例	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	議長
糸桜里の湯ばんげの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	議長
平成31年度会津坂下町一般会計予算	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長
平成31年度会津坂下町坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
平成31年度会津坂下町水道事業会計予算	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長
平成30年度会津坂下町一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長
平成30年度会津坂下町坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長
平成30年度会津坂下町水道事業会計補正予算（第5号）	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長

上記以外の議案は賛成全員で可決しました。 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 議長は採決に加わりません

## 審議したその他の議案

### 専決処分

- 坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）

### 条例改正

- 職員の自己啓発等休業に関する条例
- 災害弔慰金の支給等に関する条例
- 国民健康保険税条例
- 介護保険条例
- 町道路占用料徴収条例
- 法定外公共物の管理に関する条例
- 水道事業に係る布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例

### 条例廃止

- 保健委員設置条例
- 町駐車場条例

### 31年度当初予算

- 国民健康保険特別会計
- 介護保険特別会計
- 後期高齢者医療特別会計
- 下水道事業特別会計予算
- 農業集落排水事業特別会計

### 30年度補正予算

- 国民健康保険特別会計（第5号）
- 介護保険特別会計（第5号）
- 後期高齢者医療特別会計（第3号）
- 下水道事業特別会計（第4号）
- 農業集落排水事業特別会計（第4号）

# ばんげ未来トーク (町民・議会懇談会)



## 町民と議会が自由に 意見交換できる場

懇談会で議会にいただいた皆様の要望・意見・諸問題については議会でも十分議論し、できる事から課題解決に向けて取り組んで参ります。

### 川西熟年講座 (2月22日津尻温泉滝の湯にて)

事前に質問があった、コミュニケーションバスの可能性について、ごみの減量化について、高寺山の伝説説明についてなど多岐にわたる意見交換がなされました。特にコミュニケーションバスについては、町の公用車を利用できないか検討してほしいとの要望が出されるなど、高齢者の交通手段が減少している現状を共通課題として認識してまいりました。

### 町教育委員 (2月8日役場中会議室にて)

全教育委員に加え、教育長、教育課、こども課も同席して活発な意見交換を行いました。①今後の小学校統廃合については、適正配置の現状にあるが少子化対応は意識しなければならぬこと、②いじめ問題は、真摯に向き合うこと、③ICT環境整備等教育行政上の課題については町財政の懸念があることなどの意見が交換されました。重要課題が山積していることから、意見交換の必要性を再認識しました。

## 今年度もばんげ未来トークやります! 申込は、議会事務局まで

昨年度は、113名のご参加を頂いた『ばんげ』未来トーク。

町民皆様の多種多様な意見をお聞きするため各種団体へ議員を派遣しています。

是非お申込みください。

#### テーマ一覧

- ① 移住定住
- ② 子育て支援・教育
- ③ 産業振興・雇用
- ④ 高齢者・障がい者福祉
- ⑤ 環境・まちづくり
- ⑥ 防災
- ⑦ その他

#### 申込受付

原則、実施希望日の3週間前までに議会事務局へ申し込んでください。

#### 【申込先・問合せ】

役場 議会事務局  
電話 84-1507

#### 派遣時間

約1時間半程度

#### 対象

町内在住・在勤・在学の5名以上のグループが町内で実施する集会へ議員を派遣します。

#### 経費

無料。ただし、公共施設以外での開催経費は申込者でご負担ください。

#### 派遣までの流れ

- ① 話し合いたいテーマを選択し、議会事務局へ申し込む
- ② 派遣する議員を調整
- ③ 当日、議員が出向いて意見交換を行う
- ④ いただいた意見を議会へ持ち帰り調査検討します。

県内町村 **初** の試み

# 議会を代表しての質問



議会改革の新たな挑戦～町民に信頼される議会を目指して～



猪俣 恒雄 議員

**予算編成の重点方針は何か  
財政健全化への取り組みを最優先  
し編成しました**

**問** 前年度と違い庁舎建設延期を表明した、初めての年度予算であります。今年度予算編成の重点施策を伺う。

**答** 平成36年度までを「財政健全化最重点期間」とし、当初予算は財政健全化に向けた取り組みを最優先し編成しました。歳出削減等により、町民の皆様にご負担をおかけするが、子育て支援等、町民生活に影響の大きい行政サービスについては継続して取り組んでまいります。

**数値目標を明示した財政改革の  
具体策を議会に示せ  
財政健全化アクションプランを  
作成します**

**問** 事業見直しをする事業とその事により捻出される資金を明記した、努力目標ではなく、全職員が共有する実現可能な数値目標を明示した、財政改革の具体策を議会に示すよう要望する。

**答** 財政健全化アクションプランとして、細分化した事業ごとに今後10年間の歳出見込みを算出した詳細な財政シミュレーションを作成中であり、今後これを議会に示し、意見を頂戴しながら毎年見直しを実施します。

**問** 「会津坂下町新庁舎建設検討委員会」を再開し、役場機能の効率的な運営や防災本部等の面から検討をすべきと考えるが、所感を伺う。

**答** 委員会の再開は財政の健全化と明確な財政的裏付けが必要であり、出来るだけ早く、着工年度を決定し、スケジュールを基に検討委員会を再開したいと考えています。  
有利な支援事業、資金調達の方法等あらゆる方面から模索し早期の建設実現に向け取り組んでいきます。

**これも質問**

**問** 町としての外国人労働者対策は、  
**答** 受入れ企業と連携を図り、良好な労働、住環境づくりを目指します。

**Q：「議会を代表しての質問」とは？**

**A：**代表質問は、一般的に政党や会派を代表して行われます。会津坂下町議会には会派はありませんが、議会において質問する議員や内容等を調整して、議会全体を代表して質問をすることを言います。

**Q：実施する目的は？**

**A：**「議会を代表しての質問」をするため、質問内容を議会内で検討することで、議会議員同士の協議が活性化し、町政の課題を共有しつつ、より町民に信頼される議会になっていくことを目的としています。

**Q：一般質問と何が違うの？**

**A：**一般質問は、議員個人が町政に対して独自の観点で、町への政策提言をするのに対して、「議会を代表しての質問」は、議会全体の観点で、問い質すこととなります。そのため、議会全体で共有する課題への重要な答弁となるため、町の代表である町長だけが答弁を行います。  
質問時間は、一般質問と同じ50分で、順番は一般質問に先立って実施されます。

**Q：今後も続いていくの？**

**A：**平成31年第1回定例会からの試行であるため、実施された結果を踏まえて、次回以降も継続するか検討していきます。

# 一般質問



# 町政を問う

3月定例会では、9人の議員が一般質問を行い、2日間にわたり活発な議論を展開しました。質問と答弁を要約した内容は、12ページから15ページです。

なお、一般質問を録画した動画を町ホームページまたはYouTubeでご覧になれます。

## 猪俣恒雄議員（P10） 議会を代表しての質問

- 町財政の健全化について
- 庁舎建設について
- 当町において急増が予想される外国人労働者について

## 五十嵐一夫議員（P12上）

- 財政難に対応した人件費抑制について
- 交通安全規範意識の向上について
- 住宅火災警報器の設置の向上について

## 山口享議員（P12下）

- 町の財政状況について
- 教育行政について
- 県立坂下高等学校の合併による問題点について

## 赤城大地議員（P13上）

- 町財政の健全化について
- 公有地の跡地利用について

## 横山智代議員（P13下）

- 町長の政治姿勢について
- 職員の人材育成について
- 一人ひとりが大切にされる教育の現場の実現について

## 渡部正司議員（P14上）

- 地域コミュニティの活性化のしくみづくり  
推進事業費予算縮減について

## 渡部順子議員（P14下）

- J R只見線利活用での、観光、物産について
- みんなが元気で安心して暮らせる町について
- 0-100安心プロジェクトについて
- 町の花 菊の推進を

## 佐藤宗太議員（P15上）

- 予算編成について
- コミュニティセンターの在り方について
- 空き家対策に関して町の考えは
- 人口対策について

## 小畑博司議員（P15下）

- 第五次振興計画後期基本計画によるまちづくりが遂行されているのか伺う
- 子育て日本一に向かって進んでいるのか伺う

※一般質問・・・議員が町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、疑問点を質すこと。会津坂下町議会では質問答弁を含めて、1人50分以内としています。



五十嵐一夫議員

財政難に対応した人件費の抑制を  
職員数の適正管理などにより対応  
していきます

**問** 財政難に対応、特別職・議員・職員報酬・給与を5〜10%削減して基金を造成しよう。

**答** 報酬や給与による経費の削減は、職員募集において人材が確保できない、優秀な人材が早期退職するなど、さまざまな弊害も想定されます。

また職員の「やる気」、モチベーションの低下にもつながら慎重な判断が必要で、人件費の抑制については職員数の適正管理や時間外勤務の縮小により対応していきます。

**住宅火災警報器の現状は設置率向上に努めています**

**問** 住宅火災焼死者の減少対策に住宅火災警報器の設置に取り組み

**答** 平成23年から既存住宅についても設置が義務化になりました。

市町村・消防本部が一丸となって啓発活動を実施し、設置率向上に取り組んでいます。



山口 享議員

財政危機宣言について  
財政健全化アクションプランを  
策定します

**問** 平成31年度予算編成にあたって、健全化に向けた取り組みを最優先としております。基本的な考え方として、事業の必要性や有効性の観点から事業の優先度を設け、歳出予算の削減を行っております。また、継続事業であつても前年度と同額を予算化するのではなく、取組内容の工夫による事業費の縮減をする等、住民サービスに大きな影響がでないよう、財政状況の改善に向けた予算編成といたしました。

**答** 当初予算編成においては、財政健全化に向けた取り組みを最優先としております。基本的な考え方として、事業の必要性や有効性の観点から事業の優先度を設け、歳出予算の削減を行っております。また、継続事業であつても前年度と同額を予算化するのではなく、取組内容の工夫による事業費の縮減をする等、住民サービスに大きな影響がでないよう、財政状況の改善に向けた予算編成といたしました。

**坂下高等学校統合について  
受入れざるを得ないものであります**

**問** 会津農林高等学校との併合はなかったのか。

**答** 町としましても、両校の存続に

ついて、機会を捉えて県への働きかけをしまりました。しかしながら、県において、生徒の学びのニーズや進路希望に応じた特色ある高等学



新しい会津坂下消防署

町営住宅の全てにおいて、平成22年に設置を完了しています、設置してから約10年が交換の目安であり平成32年度の交換を予定しています。

**問** 交通安全規範意識の啓発啓蒙は、

**答** 交通安全関係団体と合同で交通安全の呼びかけを行っています。



坂下高等学校

校の配置として、実業科系の「職業教育推進校」と、普通科系の「キャリア指導推進校」にそれぞれ位置付けて配置されたものであり、子どもたちにとっての高等学校教育における環境基盤の整備という視点から、受け入れざるを得ないものと考えております。

**坂下高等学校統合について  
受入れざるを得ないものであります**

**問** 会津農林高等学校との併合はなかったのか。

**答** 町としましても、両校の存続に

ついて、機会を捉えて県への働きかけをしまりました。しかしながら、県において、生徒の学びのニーズや進路希望に応じた特色ある高等学

**問** 生徒へのインフルエンザ予防接種

**答** 個人の判断で任意に接種すべき。



赤城 大地議員

### 補助金の考え方は

今後さらなる適正化を図って参ります

**問** 補助金や助成の考え方について町の考えや更なる方針について伺う。

現段階ではその考えはありません。

**答** 町は、公益上必要な場合において寄付または補助を行うことができますと地方自治法に定められております。町の補助金の在り方については整理合理化計画により補助の見直しなどを行っておりますが、今後もそれに基づき、運営してまいります。その基本方針としては「事業費の補助を原則とすること」「補助率の適正化を図ること」という考え方を踏襲しながら今後の計画も進めてまいります。

**問** 情報を得るために東京事務所を持つ、あるいは町職員を中央省庁またはシンクタンクへ出向させる考えはないか伺う。

**答** 現在の町の財政状況に鑑みると、東京事務所をもつことは難しいと考えます。出向についても、人材育成の面から見ても非常に有効な手段ではあると考えますが、現在、職員数の削減に取り組んでいるところであり、

### 国や県の公有地の跡地利用の方針は

現在のところ取得の考えはありません

**問** 町内にある、あるいは今後新しく出るであろう国や県の公有地の跡地利用について、今後の考え方を伺う。

**答** 現在、町にある国や県の公有地はいずれも数度の公売が行われておりますが、その具体的な活用方法がないため、現在のところ取得する考えはありません。

国有地	旧法務局坂下出張所
県有地	旧農業試験場跡地 中村区旧県営住宅跡地

町にある国県所有の一覧



横山 智代議員

### 県立高校再編成方針をどう考えるか

受け入れざるを得ないと考えます

**問** 県教育委員会が発表した県立高校の再編方針をどのように考えるか。

**答** 「県立高等学校改革基本計画前期実施計画」が策定され、1学年4〜6学級とし、3学級以下の学校について再編整備を実施することが示されました。本町の2つの高校も、坂下高校は大沼高校と統合し、大沼高校の校舎を利用して「キャリア指導推進校」に。会津農林高校は耶麻農業高校と統合し、会津農林高校の校舎を利用して「職業教育推進校」に位置付けられます。子どもたちにとっての高等学校教育における環境基盤の整備という視点から、受け入れざるを得ないものと考えております。人口減少や少子高齢化が進行している状況にあって、町内の子どもたちが町内の



会津農林高等学校

高校で学ぶ場を確保することは、大変重要であると考えます。今後、町民の皆さんのご意見をお聞きしながら、地元高校発展に積極的に取り組んでまいります。

### 各課との連携状況はスムーズか職員間の連携を図ってまいります

**問** 各課との横の連携はスムーズにできているか。

**答** 週に一度の定例課長会において、各課が抱える課題や事業の進捗状況などについて協議しており、全職員へ周知しております。今後は、定例課長会、班長会議の外に、職員研修等を通して、職員に町全体の奉仕者という意識のもと、更なる職員間の連携を図ってまいります。

### これも質問

**問** 職員の提案の評価、実践は。

**答** 今年度は33の提案がありました。

**問** 一人ひとりが大切にされる教育は。幼少中12年間の途中で育んでいます。



渡部 正司議員

対話を尽くせ、コミセンのあり方  
次期振興計画で方向性を決めます

問

平成32年度からコミセン運営の委託をやめ、町直営化し、町職員を配置するとして大幅な予算縮減を計画している。この計画にあたっては、地域コミュニティ活性の方向を示さず人や地域を無視し、唐突で、対話無く一方的、強権的であり理解し難い。人材解雇にもつながる説明なき計画は容認できない。その目的は何か。

答

現在の地域づくりからさらに踏み込んだ共助の仕組みの構築が必要と考えています。このためには、現在の地域づくり推進事業の委託先であるNPO法人NIVO（ニボ）による事務局員の配置ではなく、町職員の直接的関与・支援体制が必要と考えていることから、平成32年度から段階的に、コミュニティセンターへ町職員を直接配置することで庁内調整を進めています。また、ニボ及び各地区コミュニティセンター長へは昨年9月から説明をさせていただき、本趣旨に対する御理解をいただいております。



盛況の若宮コミセン歌声喫茶

問

今回の対応は、十分な説明がなく不信を招いている。説明責任をどのように考えているか。

答

政策の大きな転換となることから、経緯を説明し、不安や疑問等にも真摯に対応してまいりました。

問

予算削減前提での議論をどう考えているか。

答

委託終了は、振興計画に関わる大きな転換であり、関係する団体等への影響は大きなものであったと思慮されます。しかし、予算ありきでなされたわけではなく、政策の転換として予算規模が縮小したものです。



渡部 順子議員

中学生の制服のあり方について  
要望があればPTAと協議します

問

会津は雪国、冬でも女子中学生はスカート、元気で暮らす為にスラックスの選択も有りと思う、どちらでも選べる改正を提案します。

答

坂下中学校へ統合の時、保護者等を中心に制服検討等部会を開催し現在の制服になっておりますし、生徒や保護者からスカートに関して苦情等はないとのことでありました。20年ほど前に女子生徒のスラックス採用について話題になった時期もありました。中学校では保護者の負担が増えた事や利用頻度が少ない等の理由で定着しなかつたとの事です。今後、スラックス着用が要望があった場合には、PTAと協議する場を設けていきたいと考えます。

答

利活用推進と魅力の発信をしてまいります。本町には若宮駅から坂本駅まで、4駅があり、県が発行するガイドブックに本町の歴史的観光資源や物産品など情報が掲載されます。今後も只見線利活用計画に基づき、平成33年度中の全線開通を見据えて、県や沿線自治体の担当部署、民間事業者等と連携を図り、利活用と魅力を発信します。また、駅前トイレについてもJRに対して整備費用も含めた要望活動を行い、具体的な整備時期及び財源確保に向け、調査研究を引き続き行います。

只見線、利活用の考えは

利活用推進と魅力を発信します

問

只見線利用での、観光、物産、おもてなしは。



会津坂下駅



佐藤 宗太議員

**次年度の最重要施策の考え方は  
財政の健全化に向けた取り組みを  
最優先しております**

**問** 平成30年度、最重要施策だったはずの新庁舎建設の延期が示された。次年度の最重要施策の考え方は。

**答** 平成31年度の当初予算編成においては、実施計画策定時に現在策定中の第六次会津坂下町振興計画の前期計画期間である平成36年度までの期間を「財政健全化最重点期間」と定めたことから、財政の健全化に向けた取り組みを最優先しております。

**問** 財政の健全化のために必要だと思われる事業や事業費を削減することで町民福祉の向上や町の発展が望めるのか。

**答** 今後においても、起債額を抑制することで将来負担の軽減を図るとともに、地方債の借入時点において償還時のシミュレーションを十分にを行い、将来的な町民福祉の向上や町の発展に結びつく財政運営を図ってまいります。



中政所にあるお試し住宅

**人口流出の抑止、若者定住策は  
空き家バンク等の情報を提供し  
ています**

**問** 町内の方であっても新たな場所に新築もしくは中古住宅を購入することは、人口流出の抑止になるので若者定住のために支援すべきと思うが、町の考えは。

**答** 町内の人口流失抑制のための若者定住支援につきましては、補助金としての支援はありませんが、空き家バンクにより住居情報の提供を実施しております。



小畑 博司議員

**持続可能なまちづくりに  
逆行していないか  
真に必要な事業を選定し、廃止や  
統合も含め見直しを図りました**

**問** 担い手が不足する農業を持続可能にする政策としての中山間地等直接支払制度と多面的支払交付金事業を併用している地区に、どちらかを選択せよ、とはどういうことか。持続可能なまちづくりに逆行していないか。

**答** 平成36年度までを財政健全化最重点期間と定め、全ての事業について廃止や見直しを行いました。中山間事業と多面的事業は共通する事項が多く含まれていることから、5行政区につきましては、どちらかの事業を凍結することに決定いたしました。

**学校給食の食材検査を継続せよ  
食材ごとの「スクリーニング検査」  
は中止します**

**問** 今後の原発廃炉作業が30年以上かかるかわからない中では安全が担保できない以上、食材のスクリーニング検査は継続すべきである。



農地維持活動（水路清掃）

**答** これまでの検査では基準値を超えることがまったくなかったことや、市場に出回っている食材・食品については基準値以下のものしか販売されないことなどの理由から、4月以降、食材ごとのスクリーニング検査は中止します。

**問** これも質問  
待機児童の現状と対策は。  
**答** 広域的な施設利用や弾力的運用を図ってまいります。



## 三月議会を傍聴して

小野 哲

東日本大震災から8年、まさにその日3月11日でした。

地方議会で初めての試みと聞く代表質問の日でした。平成最後の町予算案に対する一般質問の初日です。財政難を理由に新庁舎建設を延期した31年度の施策の最重要課題と財政健全化に対する実現可能な数値目標の明示と財政改革の具体策を議会に示す事を求めたものと今後急増が予想される外国人労働者に対する町の対応策の二点が主題です。町長も真摯な答弁ですが町の活性化、安全安心の町づくり、人口減少対策、最も重要な財政建て直し、その答えを導き出すのは困難を極め容易ではなさそうです。将来を担う世代の人口流出が加速し少子高齢化、税収不足が懸念される。協働の町づくりが振興計画に謳われて久しいが町民のニーズは日々目まぐるしく変化する。国の施策もだ。新たな広域連携として政府が検討している「圏域」構想に町政が翻

弄されそう。次期の振興計画にも少なからず影響するだろう。協働の町づくりの真髄とは何か、議会の方策があったとも考える。そんな事を考えさせられた日でした。

## 予算特別委員会を傍聴して

鈴木 美紗

今回初めて議会傍聴というものをさせていただいた。予想以上に細かい点まで議員さんが突っ込んでいたと感じました。

町の予算は国や県の政策も多く関わっていると感じました。子どもの医療費の無償化については国、県、町の三者が関わりあっている事業であり、予算についても三者の負担となるためとても複雑だと感じました。このことは他の事業についても同様のことが言えると思います。広域消防の点に関しても、町の財源に関してだけ目を向けていては政策は成り立たないのだと思いました。

どの活動も活動が行われているかどうかだけでなく本当にその活動が必要かどうかという視点が大切だと感じました。



3月11日午後2時46分に東日本大震災において犠牲になられた方々に、哀悼とご冥福をお祈り申し上げ、黙祷を捧げました。



## 第1回定例会の一般質問録画配信中

議会基本条例に基づき、町民に開かれた議事を推進するため一般質問を録画配信しています。



町のホームページまたはYouTubeでご覧になれます。

## 議会傍聴へおいで下さい

第2回定例会は、6月6日から14日までの会期（予定）です。一般質問は6月10日(月)、11日(火)午前10時開会予定です。

## 編集後記

記録的な暖冬と言ってもよい会津の冬も足早に終わり、野を見るとなによりやらそわそわと、早く田畑を耕してやらねば、と思う今日この頃であります。

今定例会から試行的に導入した代表質問という取り組みは、当初は議員全員の考えがまとまるのかという意見もあったのですが、副議長が初代の代表者となり、その質問への答弁を町長がすべて行うという、重みのある討論となりました。毎定例会でやっていくには課題も多いと思われませんが、まちの将来を見据えた議会の取り組みになってくれればと願います。

(委員 五十嵐正康)

### 議会報編集特別委員会

- 委員長 猪俣 恒雄
- 副委員長 赤城 大地
- 委員 横山 智代
- 委員 三橋 薫
- 委員 五十嵐正康
- 委員 酒井 育子

